

KEM News Letter 6号

2018年度 第22回サマーセミナー及び第20回ハンズオンセミナーが開催されました



KEM第22回サマーセミナー及び第20回ハンズオンセミナーが開催されました

2018年8月30日（木）に東京・秋葉原コンベンションホール2Fにて

サマーセミナー

テーマ：「今、何故ファイバーポストレジンコアなのか？」

講師：渥美 克幸（埼玉県開業）

峯 篤史（大阪大学大学院歯学研究科
クラウンブリッジ補綴学分野）

座長：天川由美子（東京都開業）

協賛：サンメディカル株式会社、株式会社ジーシー、株式会社松風、スリーエムジャパン株

式会社、株式会社トクヤマ、白水貿易株式会社、ペントロンジャパン株式会社、トロフィー・ラジオロジー・ジャパン株式会社

参加者：113名（有料103名、無料8名、新入会2名）

ハンズオンセミナー 材料比較シリーズ第3弾

テーマ：「ファイバーポストレジンコアを比較しよう！」

サンメディカル社の保険適応のルミナスと保険非適応のi-TFCを築造体験をして頂きました。

参加者：21名

協賛企業：サンメディカル株式会社

関東歯内療法学会(KEM) 第20回ハンズオンセミナー、第22回サマーセミナーを受講して

福島県開業 下山 泰明

2018年8月30日 残暑厳しい木曜日に秋葉原コンベンションホールにて、関東歯内療法学会第22回サマーセミナー「今、なぜファイバーポストレジンコアなのか？」が開催された。

それに先立って、同日昼より第20回ハンズオンセミナー 材料比較シリーズ第3弾として「ファイバーポストレジンコアを比較しよう！」も併催され、埼玉県川口市で開業の渥美 克幸先生を講師に、講義とサンメディカル社から発売されているi-TFCシステムを用いた築盛実習が行われた。

講義では築造は歯内療法の観点でも感染経路の

遮断という面で非常に重要であること。歯牙の補強効果を得るためには、適切な接着操作と、グラスファイバーの配置即ちファイバーアレンジメントが非常に重要であると強調された。また、ファイバーとレジンとの馴染みを良くするための工夫として、先生考案の「渥美汁」など紹介され、実験に裏打ちされた知識と技術と話術に引き込まれあっという間のコースであった。

サマーセミナー本会では、①サンメディカル②GC③松風④3M⑤トクヤマデンタル⑥白水貿易⑦ペントロンジャパンの各社が各社取り扱いの製品説明が簡単に行われた。ファイバーコアのシステムは、サンメディカル社のi-TFCシステムの特徴が際立って見えた。

講演はまず、大阪大学大学院歯学研究科 クラウンブリッジ補綴学分野から 峯 篤史先生より、支台築造と根管治療と接着歯学の演題でお話し頂いた。根管部象牙質への接着し辛さ、ポスト部は1級窩洞のシビアな状態でCファクターが強く働き接着には不利であること。臨床上ポスト形成後の窩底部は乾燥しようとしても水分が残りやすく接着阻害因子になることなど、動画や研究データをもとに教えて頂いた。演者交代し再び講師に渥美先生が登壇され、ファイバー併用レジン支台築造の勘所の演題で講演された。従来の金属支台と異なる材料特製のグラスファイバーの利点を生かす為に、ファイバーの配置位置、接着により歯根とモノブロック化すること、フェルールの確保が重要であることなど、マイクروسコープ下の美しい動画とともにご講演いただいた。支台築造を歯内療法的、補綴的、接着歯学の観点から見直す良いきっかけになった。根管治療から支台築造を経て補綴修復まで、一つ一つ確実に行うことが修復歯の予後に繋がると非常

に為になった。閉会ののち、会場前のロビーで恒例のビアパーティーが開催され、参加された先生方と各々のやり方を相談し活発な意見交換が行われた。

企画運営して下さる実行委員の先生方、協賛下さるメーカーの方々にこの場を借りて御礼申し上げます。

アンケートより抜粋（回収55枚）

Q今回のサマーセミナーに参加されていたか？（満足45枚、普通7枚、不満足1枚）

- ・各社のファイバーポストの比較が上手く分かった。
- ・各社の製品の特徴を知ることができた。
- ・支台築造のステップと選択法について理解できた。
- ・エビデンスに基づいたコアの比較が聴けた
- ・少人数なのでわかりやすい。
- ・峯、渥美両先生の講義がとても良かった。
- ・業者の方のプレゼンの後の演者の講演という構成が良かった。
- ・支台築造というテーマを、いかに再治療に結びつかないようにできるか、歯内療法の観点から勉強できた。
- ・ファイバーポスト、レジンコアの注意点が分かった。
- ・i-TFCに元々興味があったので良かった。
- ・基礎と臨床の両方からのアプローチが良かった。
- ・根治依頼を受けることがあるが、やはりコアまで行って返信すべきと思った。
- ・改めて、支台築造について考えさせられた
- ・今回はアカデミックでデータに基づいた話であった。

Q 今回の講演の内容は、今後の診療に役に立ちますか？（満足50枚、普通3枚、記載なし2枚）

- ・接着の重要性。実験が見ることができた。
- ・接着の理解が深まった。
- ・すぐに臨床に生かせる。
- ・レジン＋ファイバーの直説法をいつも行っているから。
- ・毎日のように行う処置であり、かつ明日から使える。
- ・直説法の重合収縮について、接着していない所が多いと感じました。
- ・不必要なポストは形成しないという点は、改めて大切だと思った。
- ・根管内の乾燥が重要だと改めて認識できた。ファイバーアレンジメントの重要性が再確認できた。
- ・レジンコアの接着について考えさせられました
- ・アルコールは知ってはいたが、発表として納得できるような説明、水が残ることなど、良かったですと思います。
- ・ファイバーコア、築造時の注意点の確認ができた。
- ・破折とリーケージの防止について、知見を得た。

Q 今回よく理解できた事は何でしたか？

- ・ファイバーの位置、ファイバーアレンジメント
- ・間接法ファイバーコアの作り方。
- ・ファイバーは量はたっぷり外周配置。
- ・根管内の接着は非常に困難という点。接着の欠点。
- ・根管内の接着は不確実である。水が除去できない。
- ・重合収縮によるギャップが大きいこと。
- ・Cファクターについて。
- ・レジユメが配られるのは続けてほしい。

- ・やはり根管内の接着は困難であることとその対処法。
- ・レジンの重合収縮の問題。必要以上にポストを長くすべきでないこと。
- ・メタルコアとファイバーコアの違い。ファイバーコアの合理的築造。
- ・ファイバーポストは、メタルよりファイバーの方が良いとまでは言い切れない。ポストは深すぎない方が良い。

2019年度第18回学術大会・総会について

日時：2019年1月27日（日）9:30~16:40

場所：秋葉原コンベンションホール2F

テーマ「必見！ここまでわかるCBCT時代のデンタル・パノラマ読影術」

大会長：細矢 哲康（鶴見大学）

実行委員長：山崎 泰志（鶴見大学）

基調講演

講師：金田 隆（日本大学松戸歯学部）

澤田 則宏（東京都開業）

テーブルクリニック10演題

参加費：会員事前登録8,000円（2019/1/12まで入金確認者）

非会員および会員当日登録 11,000円

学部学生、研修医、大学院生、に限り 会費無料
（ただし事前登録してください。学部学生，大学院生，研修医は身分証の提示を当日お願いします。提示がない場合は非会員扱いとなります。）

詳細Webにて

関東歯内療法学会のホームページをご覧ください。

<http://jea-kantoh.jp/index.php>

皆様からのご意見ご希望などをMailにてお待ちしております。

事務局アドレス：golden-circle@nifty.com